

低入札価格調査の実施概要

工事名：河南二期農業水利事業 中山揚水機場改修工事

調査の対象となった業者名：宮田建設株式会社

調査項目	内容
(ア) その価格により入札をした理由	直接工事費は、自社労務者及び各業者より見積徴取を行うとともに各業者と打合せを実施し、協力体制を確認している。 また、共通仮設費、現場管理費、一般管理費についても、適切な金額を計上している。
(イ) 契約対象工事付近における手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(ロ) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(エ) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(オ) 手持資材の状況	本工事で使用予定の全数量分ではないものの大型土のう袋、土のう袋を手持ち資材として所有しており、すぐに使用することができる。
(カ) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	各業者より材工共の見積を徴取し、適切な金額を計上している。各業者と入札者との取引実績は、7～20年である。
(キ) 手持機械数の状況	土工で使用するバックホウや仮設工で使用する水中ポンプ、発動発電機を所有し、中には減価償却が完了している機械もあることから外注費用の縮減や賃料の縮減に寄与している。
(ク) 労務者の具体的な供給見通し	自社労務者及び下請業者に材工共での発注・施工となる。各業者の材工共の見積を積み上げ、直接工事費に計上。労務者は各専門工事別・職種別に配置し、履行に必要な労務者総員数として428人を計画している。
(ケ) 経営内容	東日本建設業保証会社株式会社宮城支店に確認したところ、当該入札者の契約保証の受付については風評等もなく通常の扱いで手続きしている（経営内容に問題がないという判断をしている）旨の回答を得た。
(コ) 建設副産物の搬出他	建設副産物は、がれき類（有筋コンクリート、無筋コンクリート）、廃プラスチック、汚泥に区分し、受け入れ会社を計画、処理費用を直接工事費に計上しており、建設副産物を適切に処分する計画である。
上記(ア)～(コ)までの事情聴取した結果についての調査検討	<p>入札者は、自社労務者及び各業者より、材工共の見積徴取及び打合せを実施し、直接工事費は施工可能な金額を計上していると認められる。 共通仮設費は率算定及び積上げ計上、現場管理費、一般管理費等は必要額を積上げていることから適切に計上していると認められる。 特に一般管理費等は、会社としての必要額を計上していることを低入札価格調査ヒアリングの場で直接確認している。</p> <p>以上から、これまでの実績により培った技術と施工能力に基づき意欲を持って入札していること、必要額を計上していることからの確な施工、現場の安全管理、下請けへの支払い、必要な保険等の加入が行われ、工事を完成できると認められる。</p>